

事務事業名	緑化推進支援事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境共生部	みどり公園課	みどり推進係	玉田 結城

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	環境を守り育てる		
	めざす成果	緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度 平成02年度		事業終了（予定）年度	事業期間 設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
市民		5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）
	事業費	1,858	2,123	762
	人件費	2,253	1,154	769
目 的	総事業費	4,111	3,277	1,531
市民の緑に対する意識の高揚を図るとともに、緑化を推進します。	7年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
手段、手法【実施手法：直営・委託】 グリーンアップセンター内「みどりの相談コーナー」に相談員を配置し、市民からの緑に関する質問に答えます。		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		762
		合 計		762

3. 活動内容

活動指標1	名称	緑化相談		単位	件
	内容説明	緑化相談件数			
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定	500	500	200
		実 績	452	367	―――
活動指標2	名称	生垣設置助成数		単位	件
	内容説明	費用助成、現物支給件数			
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定	2	2	0
		実 績	0	0	―――
活動指標3	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定			
		実 績			―――
活動指標4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定			
		実 績			―――

4. 今後の方針等

今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	II：見直しのうえで継続	6年度	I：現状のまま継続
	緑の相談業務により、市民の緑化意識の向上や身近な場所からの緑化を推進していきます。					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	4年度	5年度	6年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	市民への緑に対する意識の高揚や緑化推進を目的とした事業のため、市が関与する必要があります。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	4年度	5年度	6年度	A：十分に成果を上げている。
	A	B	A	・接道部緑化の助成改善結果については、令和6年度で終了としました。 ・みどりの相談コーナーについては、実施日の見直しを行いました。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	4年度	5年度	6年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	市民自らが植物や資材の購入・設置を行うことにより、市の負担を少なくして市内の緑化推進につなげることができるため、経費は適正であると言えます。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	4年度	5年度	6年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	受益者自らが緑化のために植物や資材の購入・設置を行っており、受益者負担は適正であると言えます。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	4年度	5年度	6年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	市民に対して、広報紙やホームページで緑化推進の情報提供を行うとともに、環境負荷軽減にもつながる緑化の相談に対し、助言を行っています。

事務事業名	緑地保全事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境共生部	みどり公園課	みどり推進係	玉田 結城

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標		まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち			
	個別目標		環境を守り育てる			
	めざす成果		緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる			
根拠法令	名 称	都市緑地法				
		森林法				
当該事業の法令等による義務付けの有無		無				
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間	
	昭和56年度				設定無し	

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位：千円)										
要綱に基づく保全緑地対象地区内の山林及びその所有者		5年度 (決算額)	6年度 (決算額)	7年度 (予算額)							
	事業費	36,049	47,297	53,087							
	人件費	3,755	6,306	8,997							
	総事業費	39,804	53,603	62,084							
目 的											
泉の森他7箇所の緑地を保全します。	7年度事業費 (予算額) 財源内訳										
手段、手法【実施手法：直営・委託】		国支出金	0								
		県支出金	0								
		市債	0								
		その他	25,193								
		一般財源	27,894								
		合 計	53,087								
		3. 活動内容									
活動指標1	名称	保全緑地の賃貸借契約面積			単位	㎡					
	内容説明	土地所有者と賃貸借契約をしている面積									
	指標値		5年度	6年度 (当該年度)	7年度						
		予 定	229,411	226,935	226,408						
		実 績	226,935	224,982	――						
成 果 (効果・予測)											
保全緑地対象地区内における緑地を担保することにより、市民が緑と触れ合える場を確保することができます。	活動指標2	名称	保全緑地内市有地面積			単位	㎡				
		内容説明	保全緑地内の市有地面積 (みどり基金買取分を含む)								
		指標値		5年度	6年度 (当該年度)	7年度					
			予 定	73,761	80,143	81,964					
			実 績	80,143	81,964	――					
課 題	活動指標3	名称				単位					
		内容説明									
		指標値		5年度	6年度 (当該年度)	7年度					
	予 定										
	・ナラ枯れの被害は収束した状態にあるものの、被害樹木が多数あります。また、サワラやスギなどの針葉樹が枯死するケースも多く見られます。	活動指標4	名称		単位						
内容説明											
実 績			――								
・これらの倒木の恐れがある樹木の伐採等を順次行っていますが、多数あることから、緑地内の通路沿いや道路、民地の境界沿いなどを優先して対応する必要があります。		名称		単位							
							内容説明				
実 績			――								

4. 今後の方針等

今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度	II：見直しのうえで継続
	倒木等による被害が発生しないよう、森林環境譲与税をさらに活用することで、危険樹木の伐採等をより一層進めていきます。					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	4年度	5年度	6年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	緑の保全のために私有財産を賃貸借することから、市の関与が必要です。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	4年度	5年度	6年度	A：十分に成果を上げている。
	A	A	A	保全緑地の賃貸借契約を維持するとともに用地買収も進んでおり、貴重な緑地の担保性は高まっていることから、成果は十分に上げていると言えます。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	4年度	5年度	6年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	保全緑地の賃貸借料は1平方メートル当たり月額10円程度と比較的安価であり、概ね適正水準にあります。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	4年度	5年度	6年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	保全緑地は原則として市民が自由に利用できるものであり、受益・負担の公平性は保たれています。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	4年度	5年度	6年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	緑地の管理には多くの市民ボランティアが参加しています。また、緑地の確保は地球温暖化対策等の環境負担軽減に役立っています。

事務事業名	保存樹林等支援事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境共生部	みどり公園課	みどり推進係	玉田 結城

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	環境を守り育てる		
	めざす成果	緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度 昭和48年度		事業終了（予定）年度	事業期間 設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
保存樹林、保存樹木又は保存生け垣としての指定要件を満たす物件の所有者		5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）
	事業費	23,950	23,502	25,935
	人件費	2,103	1,538	1,538
目 的	総事業費	26,053	25,040	27,473
市街化区域内に点在する緑を保存します。 手段、手法【実施手法：直営】 所有者からの申請を受け、要件を満たす緑を保存樹林、保存樹木又は保存生け垣として指定し、それぞれの規定に応じた緑化奨励金を支給します。	7年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
		県支出金		0
		市債		0
		その他		25,913
		一般財源		22
		合 計		25,935
	3. 活動内容			
	活動指標1	名称	保存樹林の指定面積	単位 ㎡
		内容説明	指定している山林の面積	
		指標値	5年度	6年度（当該年度）
			予 定	7年度
			実 績	
成 果（効果・予測） 市街化区域内に点在する緑が保存されます。また、緑が持つ大気浄化やヒートアイランド現象の緩和、雨水浸透等の様々な機能を市全体が享受するとともに、周辺住民等の緑地保全への意識啓発につながります。	活動指標2	名称	保存生け垣の指定箇所数	単位 箇所
		内容説明	指定している生け垣数	
		指標値	5年度	6年度（当該年度）
			予 定	7年度
			実 績	
	活動指標3	名称	保存樹木の指定本数	単位 本
		内容説明	指定している樹木数	
		指標値	5年度	6年度（当該年度）
			予 定	7年度
			実 績	
課 題 指定解除が毎年発生している一方、新規指定はほとんどありません。また、予算も限られていることから、支援制度の内容見直しを検討する必要があると考えます。	活動指標4	名称		単位
		内容説明		
		指標値	5年度	6年度（当該年度）
			予 定	7年度
			実 績	

4. 今後の方針等

今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	II：見直しのうえで継続	6年度	II：見直しのうえで継続
	支援制度の内容見直しを検討します。					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	4年度	5年度	6年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	土地の所有者と協定を締結し、緑の保全のための緑化奨励金を支払うという性質上、市が行う必要性があります。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	4年度	5年度	6年度	B：成果を上げる余地が一部ある。
	B	B	B	指定解除が毎年発生している一方、新規指定はほとんどありません。また、予算も限られていることから、支援制度の内容見直しを検討する必要があると考えます。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	4年度	5年度	6年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	所有者は維持管理を行い、市は土地の固定資産税及び都市計画税相当額を所有者に支払って保全するものであり、適正であると言えます。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	4年度	5年度	6年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	保存樹林等は市内各地に点在していることから、市民の誰もが目にすることができるものであり、受益・負担の公平性は保たれています。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	4年度	5年度	6年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	街中の緑を保全することにより、大気浄化やヒートアイランド現象の緩和等の環境負荷軽減に役立っていると言えます。

事務事業名	既設公園等大規模改修事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境共生部	みどり公園課	公園整備係	玉田 結城

1. 位置づけ・事務事業の期間					
総合計画体系	基本目標		まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標		快適な都市の基盤を充実する		
	めざす成果		道路や公園を快適に利用している		
根拠法令	名 称	都市公園法			
		高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律			
当該事業の法令等による義務付けの有無		有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和50年度				設定無し

2. 事務事業の概要							
対 象		総事業費 (単位：千円)					
市民			5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）		
		事業費	123, 913	114, 037	118, 203		
		人件費	17, 123	22, 113	23, 056		
目 的		総事業費	141, 036	136, 150	141, 259		
利用者の安全を確保し利便性を向上させるため、公園施設の更新等を行います。		7年度事業費（予算額）財源内訳					
		国支出金		15, 580			
		県支出金		0			
		市債		80, 500			
		その他		0			
		一般財源		22, 123			
		合 計		118, 203			
手段、手法【実施手法：直営・委託】		3. 活動内容					
・公園内の老朽化及び破損した遊具、設備等を撤去・更新します。 ・遊具等を適正に維持するための補修を行います。なお、応急的な処置については、公園維持管理事業で対応しています。 ・利用者の要望等により、既設公園内に新たな遊具、設備などを設置します。		活動指標 1	名称	公園施設長寿命化計画に基づき更新した施設の数		単位	箇所
			内容説明	計画に基づき1年間で更新した施設の数			
			指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
				予 定	13	10	35
				実 績	13	5	――
成 果（効果・予測）		活動指標 2	名称	公園施設長寿命化計画に基づき補修した施設の数		単位	箇所
・公園の安全性が保たれます。 ・公園の機能と利用者の利便性が向上します。			内容説明	計画に基づき1年間に補修した施設の数			
			指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
				予 定	20	15	25
				実 績	10	13	――
課 題		活動指標 3	名称	長寿命化計画対象外施設の新設又は更新数		単位	箇所
			内容説明	計画によらず1年間に新設・更新した施設数			
			指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
				予 定	35	35	35
				実 績	22	22	――
・整備後約30年が経過した公園が都市公園の約7割を占め、損傷や老朽化など施設の危険性が増大しています。このため、今後も公園施設長寿命化計画等に基づき計画的な遊具等の補修・更新を行う必要があります。		活動指標 4	名称			単位	
			内容説明				
			指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
				予 定			
				実 績			――

4. 今後の方針等						
今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続
	・公園施設の長寿命化計画に基づき、老朽化した遊具等の補修、更新を計画的に行い、利用者の安全を確保していきます。 ・使用材料の耐久性、コスト面を考慮しながら、より経費の削減が図れるような更新を心がけ継続していきます。					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	4年度	5年度	6年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	公園管理者である市の関与が必要です。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	4年度	5年度	6年度	A：十分に成果を上げている。
	A	A	A	市民が安心して安全な公園利用ができるよう、適正な維持管理を行っています。施設の老朽化が進んでいることから、公園施設長寿命化計画に基づく計画的な遊具等の補修、更新を進めるとともに、状況に応じた公園施設の補修、更新を行う必要があります。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	4年度	5年度	6年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	適正な契約行為により事業費が決定しています。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	4年度	5年度	6年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	市民の誰もが自由に利用できることを原則としているため、受益の公平性と負担の適正化が図られています。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	4年度	5年度	6年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	市民の要望を取り入れた事業実施を行っています。事業実施に当たってはユニバーサルデザインを考慮するとともに、低公害型の機器等の使用による環境負荷低減に配慮した設計を行っています。また、工事材料に再生材を用いる等、SDGsの達成に向けた取り組みを行っています。

事務事業名	自然観察センター・しらかしのいえ運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境共生部	みどり公園課	みどり推進係	玉田 結城

1. 位置づけ・事務事業の期間					
総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち			
	個別目標	環境を守り育てる			
	めざす成果	緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる			
根拠法令	名 称				
当該事業の法令等による義務付けの有無		無			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	平成13年度				設定無し

2. 事務事業の概要								
対 象		総事業費 (単位：千円)						
市民			5年度（決算額）		6年度（決算額）	7年度（予算額）		
		事業費	39		39	39		
		人件費	826		846	846		
目 的		総事業費	865		885	885		
大和市自然観察センター・しらかしのいえを市民、委託事業者、市の三者で運営します。また市民ボランティアを育成します。		7年度事業費（予算額）財源内訳						
		国支出金				0		
		県支出金				0		
		市債				0		
		その他				0		
		一般財源				39		
手段、手法【実施手法：直営】		合 計				39		
市民、委託事業者、市の三者の協議によりしらかしのいえを運営するため、しらかしのいえ運営委員会を開催します。		3. 活動内容						
		活動指標 1	名称	運営委員会開催回数			単位	回
			内容説明	しらかしのいえ運営委員会を開催した回数				
			指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
				予 定	6	6	6	
				実 績	6	6	――	
活動指標 2	名称	講演会開催回数			単位	回		
	内容説明	しらかしのいえボランティア協議会員を対象とした講演会回数						
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度			
		予 定	1	1	1			
		実 績	1	1	――			
活動指標 3	名称				単位			
	内容説明							
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度			
		予 定						
		実 績			――			
活動指標 4	名称				単位			
	内容説明							
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度			
		予 定						
		実 績			――			
課 題								
市民（しらかしのいえボランティア協議会）、委託事業者（公益財団法人大和市スポーツ・よか・みどり財団）、市それぞれの考え方を十分に確認しながら、しらかしのいえの運営や泉の森の環境保全の方向性を決めていく必要があります。								

4. 今後の方針等					
今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度 I：現状のまま継続
	市民・委託事業者・市の3者で行う事業であり、しらかしのいえのよりよい運営や泉の森の環境保全、ボランティア活動の活性化に向け、今後も連携しながら取り組んでいきます。				

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	4年度	5年度	6年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	市民・委託事業者・市の3者で行っている事業であり、市が当事者として関与する必要があります。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	4年度	5年度	6年度	A：十分に成果を上げている。
	A	A	A	しらかしのいえの運営や泉の森の環境保全を適正に行うことができています。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	4年度	5年度	6年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	事業費については、市民ボランティアの知識向上のために必要な講演会等で使われており、適正な水準です。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	4年度	5年度	6年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	事業費が市民ボランティアの知識向上のために必要な講演会等で使われており、受益の公平性は適正です。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	4年度	5年度	6年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	しらかしのいえの運営や泉の森の環境保全に市民ボランティアが関与しており、市民参加が図られています。

事務事業名	ゆとりの森整備事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境共生部	みどり公園課	公園整備係	玉田 結城

1. 位置づけ・事務事業の期間					
総合計画体系	基本目標		まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標		快適な都市の基盤を充実する		
	めざす成果		道路や公園を快適に利用している		
根拠法令	名 称	都市公園法			
		高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律			
当該事業の法令等による義務付けの有無		有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	平成15年度		令和11年度		
				27年	

2. 事務事業の概要							
対 象		総事業費 (単位：千円)					
市民			5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）		
		事業費	3,732	12,470	9,994		
		人件費	4,506	4,655	5,567		
目 的		総事業費	8,238	17,125	15,561		
ゆとりの森の広々とした空間を活かし、市民にスポーツとレクリエーションの場を提供します。		7年度事業費（予算額）財源内訳					
			国支出金		0		
			県支出金		0		
			市債		7,200		
			その他		0		
			一般財源		2,794		
			合 計		9,994		
3. 活動内容							
活動指標 1	名称	整備面積			単位	ha	
	内容説明	ゆとりの森整備完了面積（年間）					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度		
		予 定	0	0	0		
		実 績	0	0	— — —		
成 果（効果・予測）							
・スポーツ施設及びレクリエーション施設を整備することにより、幅広い年齢層での活用が期待できます。		名称	整備進捗率			単位	%
		内容説明	累計整備進捗率（整備済み面積÷計画面積×100）				
		指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
			予 定	91	91	91	
			実 績	91	91	— — —	
活動指標 2	名称				単位		
	内容説明						
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度		
		予 定					
		実 績			— — —		
課 題							
・大規模多目的スポーツ広場（東側）予定地内にある民有地について、国による確保が進まない状況にあります。		名称				単位	
		内容説明					
		指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
			予 定				
			実 績			— — —	
活動指標 4	名称				単位		
	内容説明						
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度		
		予 定					
		実 績			— — —		

4. 今後の方針等						
今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続
	利用者に喜ばれるような公園になるよう、事業内容を見直しながら整備を進めてまいります。					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	4年度	5年度	6年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	公園整備は、公園管理者である市が関与する必要があります。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	4年度	5年度	6年度	A：十分に成果を上げている。
	A	A	A	利用者に喜ばれるような公園になるよう、事業内容を見直しながら整備を進めていきます。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	4年度	5年度	6年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	適正な契約事務により、事業費が決定しています。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	4年度	5年度	6年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	公園施設は原則として市民の誰もが自由に利用できるものであり、受益・負担の公平性は保たれています。また一部の施設は、その特性から専用利用となってしまうため、有料公園施設に位置付け、自己負担として適正な利用料を徴収しています。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	4年度	5年度	6年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	ユニバーサルデザインや環境負荷軽減に配慮した設計を行っています。

事務事業名	ゆとりの森管理運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境共生部	みどり公園課	公園整備係	玉田 結城

1. 位置づけ・事務事業の期間					
総合計画体系	基本目標		まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標		快適な都市の基盤を充実する		
	めざす成果		道路や公園を快適に利用している		
根拠法令	名 称	都市公園法			
		地方自治法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	平成21年度				設定無し

2. 事務事業の概要						
対 象		総事業費 (単位：千円)				
大和ゆとりの森を利用する市民等			5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）	
		事業費	61,797	60,748	70,107	
		人件費	6,008	6,193	3,457	
目 的		総事業費	67,805	66,941	73,564	
ゆとりの森をスポーツとレクリエーションの場として、安全で快適に利用できるよう管理運営します。		7年度事業費（予算額）財源内訳				
		国支出金		0		
		県支出金		0		
		市債		0		
		その他		15,919		
		一般財源		54,188		
		合 計		70,107		
手段、手法【実施手法：指定管理】						
指定管理者制度を活用し、施設の維持管理及び運営を行います。						
3. 活動内容						
活動指標 1	名称	管理日数			単位	日
	内容説明	ゆとりの森の管理日数				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	366	365	365	
		実 績	366	365	— — —	
活動指標 2	名称	利用満足度			単位	点
	内容説明	利用者を対象に実施するアンケート結果（5点満点）				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	4.5	4.5	4.5	
		実 績	4.54	4.44	— — —	
活動指標 3	名称	自主事業数			単位	件
	内容説明	指定管理者が実施する自主事業の数				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	50	50	50	
		実 績	41	41	— — —	
活動指標 4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
		実 績			— — —	
課 題						
芝生の園地が多いので、草刈り等の適切な管理が必要です。						

4. 今後の方針等						
今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続
	引き続き指定管理により、ゆとりの森の管理運営を行います。 （指定管理期間：令和7年度から令和11年度までの5年間）					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	4年度	5年度	6年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	都市公園法の規定により、都市公園の管理者は市となっています。指定管理者制度を導入していますが、全ての管理権限を委ねることはできません。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	4年度	5年度	6年度	A：十分に成果を上げている。
	A	A	A	指定管理者制度を導入して、経費の削減を図るとともに、市民サービスにおいては質の向上を目指します。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	4年度	5年度	6年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	指定管理者制度を導入して、経費の削減を図っています。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	4年度	5年度	6年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	一部の施設については、その特性上、専用利用となってしまうことから、有料公園施設に位置付け、自己負担分として適正な利用料金を徴収しています。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	4年度	5年度	6年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	ホームページなどで情報を提供するとともに、指定管理者の自主事業では、市民参加が行われています。

事務事業名	大規模緑地整備事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境共生部	みどり公園課	みどり推進係	玉田 結城

1. 位置づけ・事務事業の期間					
総合計画体系	基本目標		まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標		環境を守り育てる		
	めざす成果		緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる		
根拠法令	名 称	都市緑地法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	平成21年度				設定無し

2. 事務事業の概要						
対 象		総事業費 (単位：千円)				
市民			5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）	
		事業費	3,521	0	0	
		人件費	3,004	77	77	
目 的		総事業費	6,525	77	77	
市内に残る貴重な資産である大規模緑地を、将来にわたって保全していくための整備を進めます。		7年度事業費（予算額）財源内訳				
		国支出金		0		
		県支出金		0		
		市債		0		
		その他		0		
		一般財源		0		
		合 計		0		
		手段、手法【実施手法：直営・委託】				
用地買収、賃貸借契約、市民緑地、借地公園等の手段を効果的に組み合わせて、緑地を確保していきます。						
3. 活動内容						
活動指標1	名称	大規模緑地として確保した面積			単位	h a
	内容説明	みどり基金による購入土地面積＋保全契約面積				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	26.6	26.5	26.7	
		実 績	26.5	26.5	――	
活動指標2	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
		実 績				――
活動指標3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
		実 績				――
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
		実 績				――
課 題						
緑地の買収に関しては、財源となるみどり基金の残高が年々減少傾向にあるため、その土地の必要性や重要性を精査した上で、慎重に行う必要があります。						

4. 今後の方針等					
今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度 II：見直しのうえで継続
	・財源となるみどり基金の残高が年々減少傾向にあるため、令和7年度に用地買収の予定はなく、土地所有者から売却の意向があった場合は、土地の必要性や重要性を精査した上で、令和8年度以降の買収について慎重に検討します。 ・土地所有者と新規の賃貸借契約を結ぶ予定です。				

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	4年度	5年度	6年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	長期にわたって、大規模緑地の保全を図るため、市の関与が必要です。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	4年度	5年度	6年度	A：十分に成果を上げている。
	B	A	A	大規模緑地の賃貸借契約を維持するとともに、令和6年度も深見歴史の森の一部を用地買収により取得するなど緑地確保が進んでおり、貴重な緑地の担保性は高まっていることから、成果は十分に上げていると言えます。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	4年度	5年度	6年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	用地取得の際に必要な測量費等を計上しており、事業費は適正な水準にあります。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	4年度	5年度	6年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	市の緑の拠点となる大規模緑地は市民に潤いや安らぎを与える空間であり、受益の公平性と負担の適正化は保たれています。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	4年度	5年度	6年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	緑地の確保は地球温暖化対策等の環境負担軽減に役立っています。

事務事業名	みどり基金管理事務			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境共生部	みどり公園課	みどり推進係	玉田 結城

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標		まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち			
	個別目標		環境を守り育てる			
	めざす成果		緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる			
根拠法令	名 称					
当該事業の法令等による義務付けの有無		無				
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間	
	昭和61年度				設定無し	

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費			(単位：千円)
大和市みどり基金、市民		5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）
	事業費	1,219	2,308	4,543
	人件費	1,127	1,923	1,923
目 的	総事業費	2,346	4,231	6,466
緑の保全のための基金を適正に管理します。	7年度事業費（予算額）財源内訳			
手段、手法【実施手法：直営】		国支出金		0
		県支出金		0
		市債		0
		その他		4,541
		一般財源		2
		合 計		4,543
・みどり基金を運用します。				
・寄附金の受付を行います。				
・募金活動を行います。				

		3. 活動内容								
		活動指標1	名称	みどり基金募金活動				単位	日	
			内容説明	イベント等で募金活動した日数						
			指標値			5年度	6年度（当該年度）	7年度		
				予 定	4	4	4			
				実 績	4	4	— — —			
成 果（効果・予測）										
・保全緑地内の土地を買収するための資金や緑化の推進及び緑の保全に係る啓発活動に要する費用などを確保できます。 ・募金活動や寄附金の受付を通して、市民に自然環境の保全と緑化推進に関する啓発が図れます。		活動指標2	名称	基金運用利子				単位	千円	
			内容説明	公債購入等による運用利子						
			指標値			5年度	6年度（当該年度）	7年度		
				予 定	714	1,446	4,234			
				実 績	1,069	2,159	— — —			
課 題		活動指標3	名称					単位		
			内容説明							
			指標値			5年度	6年度（当該年度）	7年度		
				予 定						
				実 績			— — —			
みどり基金の残高が年々減少傾向にあるため、土地買収の際には、その土地の必要性・重要性を精査した上で、慎重に行う必要があります。		活動指標4	名称					単位		
			内容説明							
			指標値			5年度	6年度（当該年度）	7年度		
				予 定						
				実 績			— — —			

4. 今後の方針等

今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続
	・運用利子が増加傾向にあることから、利率が高い債券を活用し、効果が高い運用を行います。 ・令和7年度について用地買収の予定はありませんが、土地所有者から売却の意向があった場合は、土地の必要性・重要性を精査した上で、令和8年度以降の買収について慎重に検討します。					

事務事業名	公園維持管理事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境共生部	みどり公園課	公園管理事務所	玉田 結城

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	快適な都市の基盤を充実する		
	めざす成果	道路や公園を快適に利用している		
根拠法令	名 称	都市公園法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
	昭和34年度			設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費				(単位：千円)	
市の管理する公園を利用する市民等		5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）		
	事業費	379,968	398,693	410,413		
	人件費	12,392	24,608	29,991		
目 的	総事業費	392,360	423,301	440,404		
市民が公園を安全で快適に利用できるように維持管理します。	7年度事業費（予算額）財源内訳					
		国支出金	0			
		県支出金	0			
		市債	0			
		その他	15,000			
		一般財源	395,413			
		合 計	410,413			
手段、手法【実施手法：直営・委託】						
民間等への委託により、適切に維持管理を行います。						
成 果（効果・予測）						
・安全で快適に公園を利用できます。 ・市民が災害時に避難等するための空間を確保できます。	活動指標 1	名称	公園施設の補修件数		単位	件
		内容説明	公園施設及び公園灯の補修発注件数			
		指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
			予 定	35	35	40
			実 績	44	40	――
活動指標 2	名称	樹木管理委託の件数		単位	件	
	内容説明	公園樹木管理委託の発注件数				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	100	120	120	
		実 績	165	140	――	
活動指標 3	名称			単位		
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
		実 績			――	
活動指標 4	名称			単位		
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
		実 績			――	
課 題						
・整備後20年以上が経過した都市公園が約8割を占め、施設の損傷や老朽化が進んでいることから、安全点検の充実、適切な部品交換及び修繕が必要です。 ・樹木の巨木化、老木化が進んでおり、植替え等の抜本的な対応が必要になってきています。						

4. 今後の方針等

今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続
	・民間等への委託により、維持管理作業・監視業務を行います。 ・維持管理に必要な使用材料の安全性・耐久性等を十分考慮し、より経費の削減が図れるよう努めます。					

事務事業名	引地台公園・温水プール・立体駐車場管理運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境共生部	みどり公園課	公園管理事務所	玉田 結城

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標		まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標		快適な都市の基盤を充実する		
	めざす成果		道路や公園を快適に利用している		
根拠法令	名 称	都市公園法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	平成03年度				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象		(単位：千円)					
引地台温水プール、引地台温水プール立体駐車場、引地台公園を利用する市民等			5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）		
		事業費	158,973	171,255	171,035		
		人件費	2,253	1,538	6,152		
		総事業費	161,226	172,793	177,187		
目 的		7年度事業費（予算額）財源内訳					
市民が引地台温水プール、引地台公園等を安全かつ快適に利用できるよう適切に管理運営します。			国支出金		0		
			県支出金		0		
			市債		0		
			その他		5,874		
			一般財源		165,161		
			合 計		171,035		
手段、手法【実施手法：指定管理】		3. 活動内容					
指定管理者制度を活用し、施設の維持管理及び運営を行います。		活動指標 1	名称	年間開場日数	単位	日	
			内容説明	1年間に開場した日数（引地台温水プール）			
			指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
				予 定	180	280	280
				実 績	189	283	――
成 果（効果・予測）							
施設を適正に管理運営することにより、市民が安心して利用できる環境を維持することができます。		活動指標 2	名称	1日当たりの入場者数	単位	人	
			内容説明	1日平均			
			指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
				予 定	700	700	640
				実 績	638	554	――
課 題		活動指標 3	名称		単位		
			内容説明				
			指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
				予 定			
				実 績			――
・利用している市民の安全確保が最優先の課題ですが、引地台温水プールは設置後30年以上が経過しているため、老朽化への対応は喫緊の課題です。 ・市立中学校の移動水泳教室に加えて、市立小学校の移動水泳教室も順次引地台温水プールで実施されていく方針であることから、老朽化への対応の重要性が増しています。		活動指標 4	名称		単位		
			内容説明				
			指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
				予 定			
				実 績			――

4. 今後の方針等

事務事業名	多胡記念公園維持管理事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境共生部	みどり公園課	公園管理事務所	玉田 結城

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標		まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標		快適な都市の基盤を充実する		
	めざす成果		道路や公園を快適に利用している		
根拠法令	名 称	都市公園法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	平成11年度				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費		(単位：千円)	
		5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）
	事業費	5,994	5,867	5,867
	人件費	1,878	2,307	1,538
目 的	総事業費	7,872	8,174	7,405
多胡記念公園を、茶道、華道、書道、句会等、市民に文化教養活動の場を提供できるように管理運営します。	7年度事業費（予算額）財源内訳			
	国支出金		0	
	県支出金		0	
	市債		0	
	その他		0	
	一般財源		5,867	
	合 計		5,867	
手段、手法【実施手法：指定管理】				
指定管理者制度を活用し、施設の維持管理及び運営を行います。				

3. 活動内容

活動指標 1	名称	年間開館日数			単位	日
	内容説明	1年に開館した日数				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	300	300	300	
		実 績	309	307	――	
活動指標 2	名称	1日当たりの入場者数			単位	人
	内容説明	1日平均				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	20	20	15	
		実 績	11	12	――	
活動指標 3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
		実 績			――	
活動指標 4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
		実 績			――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続
	・令和8年度から令和12年度までの5年間についても引き続き指定管理者制度に基づく管理運営を行います。 ・幅広い世代の方に利用していただけるよう、小学生を含め若い年齢層への利用を促すためにホームページ等でPRを行います。					

事務事業名	公園用地等借受事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境共生部	みどり公園課	公園整備係	玉田 結城

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	快適な都市の基盤を充実する		
	めざす成果	道路や公園を快適に利用している		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和49年度			設定無し

2. 事務事業の概要						
対 象		総事業費 (単位：千円)				
公園用地等			5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）	
		事業費	26,436	25,315	25,386	
		人件費	3,004	3,076	2,732	
目 的		総事業費	29,440	28,391	28,118	
市民に憩いや遊びの場を提供するため、公園等の用地の確保を図ります。		7年度事業費（予算額）財源内訳				
		国支出金		0		
		県支出金		0		
		市債		0		
		その他		0		
		一般財源		25,386		
		合 計		25,386		
手段、手法【実施手法：直営】						
土地所有者から土地を借り上げ、緑の広場として市民に開放します。						
大和ゆとりの森や泉の森等において国有地、県有地、民有地の継続借受及び新規借受を行います。						
3. 活動内容						
活動指標 1	名称	緑の広場賃借			単位	件
	内容説明	緑の広場賃借数				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	16	15	15	
		実 績	15	15	――	
活動指標 2	名称	公園等用地借受面積			単位	㎡
	内容説明	公園等用地として借受けている面積				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	435,893	435,893	435,893	
		実 績	435,893	435,893	――	
活動指標 3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
		実 績			――	
活動指標 4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
		実 績			――	
課 題						
賃貸借での用地借受となるため地権者の都合により継続できなくなる可能性があります。						

4. 今後の方針等					
今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度 I：現状のまま継続
	公園用地の確保には相当の費用と期間を要するため、その代替として緑の広場等を設置し、公園不足地域において憩いの場を提供していきます。				
	新たな相談があった際には、周辺における公園整備の状況等を踏まえ、新設に向けた検討を行います。				

事務事業名	緑化ボランティア等育成支援事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境共生部	みどり公園課	公園管理事務所	玉田 結城

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	快適な都市の基盤を充実する		
	めざす成果	道路や公園を快適に利用している		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
	昭和59年度			設定無し

2. 事務事業の概要

対 象 緑地保全・緑化推進等のボランティア活動に参加している（参加しようとしている）市民団体（公園愛護会等登録団体）	総事業費				(単位：千円)
		5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）	
	事業費	7,347	7,181	7,825	
	人件費	3,530	3,231	2,692	
	総事業費	10,877	10,412	10,517	
目 的 緑地保全・緑化活動の主役である市民が、ボランティア活動を推進できる環境整備を行います。	7年度事業費（予算額）財源内訳				
手段、手法【実施手法：直営】 公園愛護会等、緑のボランティアに対する支援を行います。			国支出金		0
			県支出金		0
			市債		0
			その他		3,142
			一般財源		4,683
			合 計		7,825

3. 活動内容

活動指標1	名称	公園愛護会登録団体数			単位	団体
	内容説明	公園愛護会登録をしている団体の数				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	119	120	115	
		実 績	111	115	―――	
活動指標2	名称	愛護会花苗配布団体			単位	団体
	内容説明	花苗配布団体数				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	115	115	115	
		実 績	118	115	―――	
活動指標3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
		実 績			―――	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
		実 績			―――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続
	市から各愛護会団体に対して花苗を配布し緑化推進を積極的に行っていきます。 公園・緑等の保全には、市民ボランティアの積極的な参加が必要なことから、引き続き関係団体を支援していきます。					

事務事業名	自然観察センター・しらかしのいえ維持管理事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境共生部	みどり公園課	みどり推進係	玉田 結城

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	環境を守り育てる		
	めざす成果	緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
	平成05年度			設定無し

2. 事務事業の概要						
対 象		総事業費 (単位：千円)				
自然観察センター・しらかしのいえを利用する市民等			5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）	
		事業費	22,805	24,158	24,928	
		人件費	1,127	1,154	1,538	
目 的		総事業費	23,932	25,312	26,466	
しらかしのいえを、緑地保全や自然に関連した事業及び活動を行うための施設として、適切に維持管理します。		7年度事業費（予算額）財源内訳				
		国支出金		0		
		県支出金		0		
		市債		0		
		その他		0		
		一般財源		24,928		
		合 計		24,928		
手段、手法【実施手法：委託】						
しらかしのいえの施設管理及び運営管理を委託します。						
3. 活動内容						
活動指標 1	名称	年間開館日数			単位	日
	内容説明	1 年間に開館した日数				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	300	300	308	
		実 績	308	307	— — —	
活動指標 2	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
		実 績			— — —	
活動指標 3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
		実 績			— — —	
活動指標 4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
		実 績			— — —	
課 題						
施設の一部が利用できないなど、施設の老朽化が進んでおり、早期の修繕や設備の更新が必要ですが、費用が高額であることから、予算の確保が課題です。						

4. 今後の方針等					
今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度 I：現状のまま継続
	施設管理者を通じて老朽化の状況を十分に把握し、計画的に適切な維持管理ができるようにします。				

事務事業名	グリーンアップセンター維持管理事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境共生部	みどり公園課	みどり推進係	玉田 結城

1. 位置づけ・事務事業の期間					
総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち			
	個別目標	環境を守り育てる			
	めざす成果	緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる			
根拠法令	名 称				
当該事業の法令等による義務付けの有無		無			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	平成05年度				設定無し

2. 事務事業の概要						
対 象		総事業費 (単位：千円)				
グリーンアップセンターを利用する市民等			5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）	
		事業費	19,836	23,802	23,992	
		人件費	1,127	1,154	1,538	
目 的		総事業費	20,963	24,956	25,530	
グリーンアップセンターを、都市緑化の啓発及び知識の普及を行うための施設として、適切に維持管理します。		7年度事業費（予算額）財源内訳				
		国支出金		0		
		県支出金		0		
		市債		0		
		その他		0		
		一般財源		23,992		
		合 計		23,992		
手段、手法【実施手法：委託】						
グリーンアップセンターの施設管理及び運営管理を委託します。						
成 果（効果・予測）						
緑化ボランティアの活動拠点となるグリーンアップセンターの施設及び運営を適切に管理し、緑化に関する指導、各種講習会や展示会の開催などを行うことで、緑化の啓発や知識の普及、緑化ボランティアの育成が図られます。						
課 題						
・施設の老朽化が進んでおり、早期の修繕や設備の更新が必要ですが、費用が高額であることから、予算の確保が課題です。						
・夜間利用者が少ないことから、開館時間の見直しについて検討が必要です。						
		3. 活動内容				
活動指標 1	名称	年間開館数			単位	日
	内容説明	1年間に開館した日数				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	300	300	308	
		実 績	308	307	— — —	
活動指標 2	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
		実 績			— — —	
活動指標 3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
		実 績			— — —	
活動指標 4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
		実 績			— — —	

4. 今後の方針等					
今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度 II：見直しのうえで継続
	・施設管理者を通じて老朽化の状況を十分に把握し、計画的に適切な維持管理ができるようにします。				
	・夜間利用者が少ないことから、開館時間の見直しについて検討します。				

事務事業名	環境保全団体支援事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境共生部	みどり公園課	みどり推進係	玉田 結城

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標		まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち			
	個別目標		環境を守り育てる			
	めざす成果		温室効果ガスの排出量が削減されている			
根拠法令	名 称					
当該事業の法令等による義務付けの有無		無				
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間	
	平成03年度				設定無し	

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
市内事業者及び市民		5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）
	事業費	68	99	95
	人件費	751	1,620	1,154
目 的	総事業費	819	1,719	1,249
本市の環境を保全する活動を行っている団体を支援します。	7年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
手段、手法【実施手法：直営】 ・補助金による助成を行います。 ・事務局として支援を行います。		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		95
		合 計		95

3. 活動内容

活動指標1	名称	補助金の交付		単位	千円
	内容説明	交付した補助金の額			
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定	102	99	95
		実 績	68	99	――
活動指標2	名称	活動事業数		単位	回
	内容説明	補助金を交付している環境保全団体の活動回数			
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定	9	8	7
		実 績	9	8	――
活動指標3	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定			
		実 績			――
活動指標4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定			
		実 績			――

課 題	市が事務局を務める「やまとの環境をよくする会」の会員事業所数が減少傾向にあります。事業内容を見直したり、広報活動を強化したりするなど、会の魅力を高める必要があります。				
------	---	--	--	--	--

4. 今後の方針等

今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	II：見直しのうえで継続	6年度	II：見直しのうえで継続
	令和6年度から実施した広報活動を引き続き実施し、会員事業所数の増加につなげます。また、より効果の高い活動となるよう、事業内容の見直しを進めます。					

事務事業名	公園台帳整備事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境共生部	みどり公園課	公園整備係	玉田 結城

1. 位置づけ・事務事業の期間					
総合計画体系	基本目標		まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標		快適な都市の基盤を充実する		
	めざす成果		道路や公園を快適に利用している		
根拠法令	名 称	都市公園法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和63年度				設定無し

2. 事務事業の概要						
対 象		総事業費 (単位：千円)				
都市公園及び都市公園とする公園			5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）	
		事業費	3,740	3,190	2,233	
		人件費	1,502	2,348	1,341	
目 的		総事業費	5,242	5,538	3,574	
都市公園を管理する上で必要な図書を作成します。		7年度事業費（予算額）財源内訳				
		国支出金			0	
手段、手法【実施手法：委託】		県支出金			0	
		市債			0	
		その他			0	
		一般財源			2,233	
		合 計			2,233	
3. 活動内容						
活動指標 1	名称	台帳整備			単位	箇所
	内容説明	台帳を整備した公園の箇所				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	3	3	1	
		実 績	4	3	— — —	
活動指標 2	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
		実 績				— — —
活動指標 3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
		実 績				— — —
活動指標 4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
		実 績				— — —
課 題						
・管理業務の省力化に向け、電子化されていない旧台帳を再整備する必要があります。						

4. 今後の方針等						
今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続
	管理業務の省力化に向け、電子化されていない旧台帳を再整備します。					

事務事業名	野生鳥獣保護事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境共生部	みどり公園課	みどり推進係	玉田 結城

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち			
	個別目標	環境を守り育てる			
	めざす成果	緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる			
根拠法令	名 称	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律			
		特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律			
当該事業の法令等による義務付けの有無		有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	平成09年度				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費					(単位：千円)		
野生鳥獣の捕獲・飼養の許可等を受けようとする市民		5年度（決算額）		6年度（決算額）		7年度（予算額）		
	事業費	905		3,969		4,469		
	人件費	4,506		2,233		4,230		
目 的	総事業費	5,411		6,202		8,699		
野生鳥獣の保護及び狩猟の適正化を図ることにより、生物多様性を確保します。	7年度事業費（予算額）財源内訳							
		国支出金				0		
		県支出金				1,110		
		市債				0		
		その他				0		
		一般財源				3,359		
手段、手法【実施手法：直営・委託】			合 計				4,469	
	3. 活動内容							
	活動指標 1	名称	傷病野生鳥獣保護許可件数				単位	件
		内容説明	傷病野生鳥獣保護のための捕獲を許可した件数					
		指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度		
予 定			5	5	5			
実 績			3	5	――			
成 果（効果・予測）	活動指標 2	名称	野生鳥獣生活被害相談件数				単位	件
		内容説明	野生鳥獣による生活被害について相談を受けた件数					
		指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度		
			予 定	220	220	300		
			実 績	265	292	――		
課 題	活動指標 3	名称	有害鳥獣捕獲数				単位	体
		内容説明	生活被害、農業被害に係る有害鳥獣捕獲数					
		指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度		
			予 定	35	35	35		
			実 績	32	35	――		
野生鳥獣の保護を図ることにより、自然環境の恵沢を享受できる市民生活が確保できます。	活動指標 4	名称					単位	
		内容説明						
		指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度		
			予 定					
			実 績			――		
・相談件数が多いアライグマやハクビシンの捕獲数をさらに増やせるよう検討する必要があります。また、限りある予算の中で、効果的に捕獲できるようにします。 ・市民からの相談において、カラスやハトなどを中心に安易に野生鳥獣の駆除を要望するケースが多く見受けられます。野生鳥獣との付き合い方や対処法を市民に周知する必要があります。								

4. 今後の方針等

今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	II：見直しのうえで継続	6年度	II：見直しのうえで継続
	・相談件数が多いアライグマやハクビシンの捕獲数をさらに増やすとともに、限りある予算の中で効果的に捕獲できるよう、発生エリアなどを分析し、市管理地の緑地等にわなを効果的に設置します。 ・市民からの相談において、カラスやハトなどを中心に安易に野生鳥獣の駆除を要望するケースや巣立ちの時期（4月～7月）にはヒナや巣の扱いに関する相談が多く寄せられることから、野生鳥獣との付き合い方や対処法に関するQ＆Aをホームページ等で公開するなど、市民への積極的な周知を進めます。					

事務事業名	緑化施策の企画・調整・推進事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境共生部	みどり公園課	みどり推進係	玉田 結城

1. 位置づけ・事務事業の期間					
総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち			
	個別目標	環境を守り育てる			
	めざす成果	緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる			
根拠法令	名 称	都市緑地法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	平成18年度				設定無し

2. 事務事業の概要									
対 象		総事業費 (単位：千円)							
市内に存する緑と市民、行政及び企業		5年度（決算額）		6年度（決算額）		7年度（予算額）			
		事業費		105		138		110	
		人件費		1,127		1,309		6,152	
目 的		総事業費		1,232		1,447		6,262	
市内における緑化の推進及び緑の保全に関する計画の進行管理を行います。		7年度事業費（予算額）財源内訳							
		国支出金		0					
		県支出金		0					
		市債		0					
		その他		0					
		一般財源		110					
		合 計		110					
手段、手法【実施手法：直営・委託】									
緑の基本計画や環境基本計画に数値に示すなどの具体的な目標を定め、諸施策の進行を管理します。									
3. 活動内容									
活動指標 1	名称	公共施設における緑のカーテンの設置					単位	箇所	
	内容説明		公共施設で設置した緑のカーテンの箇所数						
	指標値			5年度	6年度（当該年度）	7年度			
		予 定		10	10	10			
		実 績		14	20	――			
活動指標 2	名称						単位		
	内容説明								
	指標値			5年度	6年度（当該年度）	7年度			
		予 定							
		実 績				――			
活動指標 3	名称						単位		
	内容説明								
	指標値			5年度	6年度（当該年度）	7年度			
		予 定							
		実 績				――			
活動指標 4	名称						単位		
	内容説明								
	指標値			5年度	6年度（当該年度）	7年度			
		予 定							
		実 績				――			
課 題									
宅地化等の理由により、保存樹林等の指定解除が毎年発生するなど、市内の緑が減少傾向にあります。担保性を高める施策を検討する必要があります。									

4. 今後の方針等						
今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続
	・緑の基本計画などの数値目標が達成できるよう、進行管理を引き続き行います。 ・市民の緑化活動の推進や緑に対する意識啓発などを図るため、国際園芸博覧会への出展準備を進めます。 ・森林環境譲与税を活用し、保全緑地の間伐材を利用した木製玩具を製作してイベント等で活用し、木材の利用促進と普及啓発を図ります。 ・緑のカーテンについては、今後もホームページによる広報活動などを通じて、公共施設や一般家庭への普及啓発を図ります。					

事務事業名	(公財) かながわトラストみどり財団に関する事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境共生部	みどり公園課	みどり推進係	玉田 結城

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	環境を守り育てる		
	めざす成果	緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
				設定無し

2. 事務事業の概要										
対 象		総事業費 (単位：千円)								
市民			5年度（決算額）		6年度（決算額）		7年度（予算額）			
		事業費	0		0		0			
		人件費	1,127		769		769			
目 的		総事業費	1,127		769		769			
本市内にトラスト緑地を指定し緑地保全を図っているかながわトラストみどり財団に協力することにより、本市の緑地保全を図ります。 手段、手法【実施手法：直営】 かながわトラストみどり財団が指定する緑地の契約事務、管理について協力します。		7年度事業費（予算額）財源内訳								
		国支出金		0						
		県支出金		0						
		市債		0						
		その他		0						
		一般財源		0						
		合 計		0						
		3. 活動内容								
		活動指標 1	名称	県トラスト事務対応協力件数					単位	件
			内容説明	県トラストの事務に協力した件数						
指標値			5年度		6年度（当該年度）		7年度			
	予 定		10		10		10			
	実 績		10		5		－ － －			
活動指標 2	名称						単位			
	内容説明									
	指標値		5年度		6年度（当該年度）		7年度			
		予 定								
		実 績					－ － －			
活動指標 3	名称						単位			
	内容説明									
	指標値		5年度		6年度（当該年度）		7年度			
		予 定								
		実 績					－ － －			
活動指標 4	名称						単位			
	内容説明									
	指標値		5年度		6年度（当該年度）		7年度			
		予 定								
		実 績					－ － －			
課 題										
かながわトラストみどり財団が所管する市内緑地は、泉の森の一部と久田緑地の2箇所ですが、緑地周辺の住民からの管理面の要望については、より速やかな対応が望まれます。										

4. 今後の方針等						
今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続
	今後も、かながわトラストみどり財団と協力して、市内の緑地保全を継続して行っています。					

事務事業名	市民緑地設置推進事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境共生部	みどり公園課	みどり推進係	玉田 結城

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標		まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち			
	個別目標		環境を守り育てる			
	めざす成果		緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる			
根拠法令	名 称	都市緑地法				
当該事業の法令等による義務付けの有無		有				
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間	
					設定無し	

2. 事務事業の概要

対 象		総事業費				(単位：千円)		
市内に存する一定要件を満たす土地の所有者及び市民			5年度（決算額）		6年度（決算額）		7年度（予算額）	
		事業費	0		0		0	
		人件費	1,127		769		769	
目 的		総事業費	1,127		769		769	
市民が直接自然にふれあう場の確保、公園不足地域の解消、緑の保全活動の場と機会の創出を図ります。		7年度事業費（予算額）財源内訳						
		国支出金		0				
		県支出金		0				
		市債		0				
		その他		0				
		一般財源		0				
		合 計		0				
手段、手法【実施手法：直営・委託】								
・一定要件を満たす土地所有者からの申し出により市民緑地契約を締結します。								
・地域住民団体に市民緑地の維持管理を委託します。								
成 果（効果・予測）								
市民が直接自然にふれあう場の確保、公園不足地域の解消、緑の保全活動の場と機会の創出を図ることができます。		活動指標1	名称	市民緑地箇所数			単位	箇所
			内容説明	市民緑地の箇所数				
		指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度		
			予 定	2	2	2		
			実 績	2	2	――		
活動指標2	名称				単位			
		内容説明						
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度			
		予 定						
		実 績			――			
活動指標3	名称				単位			
		内容説明						
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度			
		予 定						
		実 績			――			
活動指標4	名称				単位			
		内容説明						
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度			
		予 定						
		実 績			――			
課 題								
都市化が進み、市民緑地の対象となる場所も限られている中、新規指定がありません。土地所有者からの申し出だけでなく、市からアプローチをかけるなど、積極的にPRする必要があります。								

4. 今後の方針等

今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	II：見直しのうえで継続	6年度	II：見直しのうえで継続
	都市化が進み、市民緑地の対象となる場所も限られている中、新規指定がありません。指定箇所が増えるよう、今後も保存樹林に指定されている山林の所有者に対し、市民緑地への移行の声かけを積極的に進めていきます。					

事務事業名	民間開発への指導事務			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境共生部	みどり公園課	みどり推進係	玉田 結城

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	環境を守り育てる		
	めざす成果	緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
				設定無し

2. 事務事業の概要								
対 象		総事業費 (単位：千円)						
開発事業者		5年度（決算額）		6年度（決算額）		7年度（予算額）		
	事業費	0		0		0		
	人件費	3,229		3,076		3,076		
目 的		総事業費	3,229		3,076		3,076	
開発事業の進展で失われつつある街中の緑をできるだけ確保していきます。		7年度事業費（予算額）財源内訳						
			国支出金		0			
			県支出金		0			
			市債		0			
			その他		0			
			一般財源		0			
		合 計		0				
手段、手法【実施手法：直営】								
開発事業者への指導・協力依頼を行います。								
成 果（効果・予測）								
開発面積に応じて、緑をできる限り保全・創出してもらうことにより、市民生活の場である街中の緑を確保できます。								
課 題								
開発事業により帰属・寄付される公園は小規模なものが多く、市民への効果は限定的でありながら、維持管理の負担は増えるといった課題があります。								

3. 活動内容							
活動指標 1	名称	開発協議件数				単位	件
	内容説明	緑化、公園設置の指導・協力依頼件数					
	指標値		5年度	6年度	7年度		
		予 定	70	70	70		
		実 績	55	45	— — —		
活動指標 2	名称					単位	
	内容説明						
	指標値		5年度	6年度	7年度		
		予 定					
		実 績			— — —		
活動指標 3	名称					単位	
	内容説明						
	指標値		5年度	6年度	7年度		
		予 定					
		実 績			— — —		
活動指標 4	名称					単位	
	内容説明						
	指標値		5年度	6年度	7年度		
		予 定					
		実 績			— — —		

4. 今後の方針等					
今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度 I：現状のまま継続
	開発事業者への指導・協力依頼を引き続き行うことにより、より多くの緑を確保できるようにします。				

事務事業名	記念樹植樹事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境共生部	みどり公園課	みどり推進係	玉田 結城

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	環境を守り育てる		
	めざす成果	緑地が保全されるとともに、市街地の緑化も進んでいる		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
				設定無し

2. 事務事業の概要								
対 象		総事業費 (単位：千円)						
市民			5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）			
		事業費	0	0	0			
		人件費	75	77	77			
目 的		総事業費	75	77	77			
市民の緑化に関する意識の高揚を図ります。 手段、手法【実施手法：直営】 ・「人生の記念植樹」と銘打って市民から寄附を募り、公有地等に寄附者名入りの樹名板を付けた木を植えます。		7年度事業費（予算額）財源内訳						
		国支出金		0				
		県支出金		0				
		市債		0				
		その他		0				
		一般財源		0				
		合 計		0				
		3. 活動内容						
		活動指標 1	名称	植樹された樹木の総数			単位	本
			内容説明	これまでに植樹された樹木の総数				
指標値			5年度	6年度（当該年度）	7年度			
	予 定		180	180	180			
	実 績		180	180	－ － －			
活動指標 2	名称				単位			
	内容説明							
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度			
		予 定						
		実 績			－ － －			
活動指標 3	名称				単位			
	内容説明							
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度			
		予 定						
		実 績			－ － －			
活動指標 4	名称				単位			
	内容説明							
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度			
		予 定						
		実 績			－ － －			
課 題								
植樹場所の確保や植樹後の管理、市民のニーズ等を勘案し、今後の事業方針を検討する必要があります。								

4. 今後の方針等					
今後の方針等	4年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	5年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	6年度 Ⅱ：見直しのうえで継続
	植樹場所の確保や植樹後の管理、市民のニーズ等を勘案し、今後の事業方針を検討します。				

事務事業名	街区公園等整備事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	環境共生部	みどり公園課	公園整備係	玉田 結城

1. 位置づけ・事務事業の期間					
総合計画体系	基本目標		まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標		快適な都市の基盤を充実する		
	めざす成果		道路や公園を快適に利用している		
根拠法令	名 称	都市公園法			
		高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律			
当該事業の法令等による義務付けの有無		有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
					設定無し

2. 事務事業の概要						
対 象		総事業費 (単位：千円)				
市民			5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）	
		事業費	7,927	0	0	
		人件費	7,510	1,579	960	
目 的		総事業費	15,437	1,579	960	
周辺住民に憩いや遊びの場を提供します。		7年度事業費（予算額）財源内訳				
			国支出金		0	
手段、手法【実施手法：直営・委託】			県支出金		0	
			市債		0	
			その他		0	
			一般財源		0	
			合 計		0	
		3. 活動内容				
活動指標 1	名称	公園整備面積			単位	ha
	内容説明	公園整備面積（年間）				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	0.18	0	0	
		実 績	0.18	0	— — —	
活動指標 2	名称	市民1人当たりの都市公園面積			単位	㎡
	内容説明	緑の基本計画に定める市民1人当たりの都市公園面積				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	6.9	6.9	6.9	
		実 績	3.39	3.38	— — —	
活動指標 3	名称	市民1人当たりの公園等面積			単位	㎡
	内容説明	泉の森や緑の広場等を含めた市民1人当たりの公園等面積				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	6.9	7.6	7.6	
		実 績	6.83	6.57	— — —	
活動指標 4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
		実 績			— — —	
課 題						
・幅広い世代間のレクリエーションやコミュニティの場が生まれます。 ・災害時の身近な避難場所ができます。						
・本市の公園整備は、大和市緑の基本計画に掲げる一人当たりの公園面積の目標値を大きく下回っているため、計画的に整備を進める必要があります。 ・また、コミュニティ形成や災害時の避難場所等の拠点として重要な役割を果たす街区公園は、地区によりばらつきが生じないように適正に配置する必要があります。						

4. 今後の方針等					
今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度 I：現状のまま継続
	令和7年度は、公園の整備を行わず、令和8年以降の整備に向けて検討を進めます。				